

# かっぱの通信

2012年2月12日

vol. 92

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

まだまだ冬眠中  
号

2/25 かっぱの会の総会を開催します



## 報告 北山公園で大規模な工事！

北山公園で現在、大規模な工事が行なわれているのをご存知でしょうか。主な工事は、①菖蒲田の木道改良工事（コンクリートの基礎を設置し、その上に幅広の木道を設置）、②蓮池の土壌改良工事、③しょうちゃん池の奥（東側）の湿地化工事、④ドウダンツツジやロウバイの移植工事、などです（緊急雇用対策の予算を使い、3月末完成予定）。

2月4日の川端会議（北山公園整備計画意見交換会）で、市より工事内容について報告があり、その内容について意見交換を行いました。川端会議の参加者の多くが、施工中の工事内容が、これまで議論し合意してきた北山公園のあるべき姿（できるだけ元の自然を生かし、在来生物にやさしい公園としていくことなど）とかけ離れているのではないか、という疑問を持って参加していたため、菖蒲など四季の花を鑑賞するための整備というテーマについて一定に理解を示しつつも、主として北山公園のあるべき姿の視点から意見交換が行われました。以下、主な意見について紹介します。



公園内の広場（原っぱ）については、残すこととし、昆虫や鳥が生息しやすい環境づくりをすべきだという意見が多く出されました。また、在来生物を守っていくためには水辺の整備も重要ですが、公園内に1年間にわたり、できるだけ水辺が存在するような環境づくりを目指すべきであるという意見が多く出されました。しょうちゃん池の奥（東側）の湿地化については、池の護岸の自然護岸化と併せ北川かっぱの会としても望んでいたところであり、整備の実際について今後、注視していきたいと思えます。

木道の整備でコンクリート基礎にした点については、木道の耐久性の向上や菖蒲田に水を溜まりやすくするなどの効果があるとのことでした。

現在、目だっている基礎のコンクリート表面については、赤土を水で溶いて塗る措置を講ずるとのことでした。

今回の大規模な工事は、予算や設計が検討中だったとのことで、9月の川端会議開催時点では工事の内容が明らかにされていませんでした。しかし、今回の工事内容が比較的大規模であったこと、これまで議論し合ってきた北山公園のあるべき姿の内容に反する可能性もあったと思われること



▲歩道は約3m、木道は約1.8mに拡大

ことから、何らかの方法で市民団体等と意見交換を行う必要があったのではないかと考えます。ともあれ、北川かっぱの会としては、在来生物にやさしい公園としていくため、最善をつくしたいと思えます。



しょうちゃん池の奥（東側）に設けられた盛り土部▶

## 予告 2月25日は総会です

2月25日(土)15:30より、廻田公民館で総会を開催します。当日は2011年の活動を振り返った上で、2012年の活動方針案や予算案などについて議論を行う予定です。当日は、以下の点を中心に議論を行っていく予定です。皆様方の参加をお待ちしております。

### ①「(仮称)北川ルール」の策定について

北川に放流や投棄される動植物、一向に減らない北川のゴミ。ここ何年か様々な対応を試みてきましたが、決め手は地域住民の理解と行動であると考えます。在来生物を守り、北川で楽しく遊び、眺めていくためのルールについて検討したいと思います。「(仮称)北川ルール」で北川の川づくりの目指すべき方向や禁止行為について案をつくり、地域の方々と議論をしていくきっかけにしていきたいと思ひます。

### ②北川流域の生物多様性を保持していくために

北川流域では、多くの動植物(在来種)が絶滅の危機に瀕しています。北川流域の生物多様性を保持していくために、どのようなことをしなければならぬのか議論したいと思います。特に北山公園の整備や、北川のオオクチバスやオオフサモの駆除について、当面の活動の方向性について議論したいと思います。

### ③活動の支援者の輪を広げていくために

北川流域の環境を守り、環境を復元していくためには、当会の活動の支援者の輪を広げていく必要があります。支援者の輪を広げていくためには、日々の活動の積み重ねが極めて重要であると認識していますが、より強力に輪を広げていくために検討すべき点がないかどうか、主にイベントの企画内容や広報の仕方などの視点から議論したいと思います。

### ④他団体との連携について

北川流域の環境を守り、環境を復元していくためには、様々な関係団体との連携が欠かせませんが、個々の連携について改善すべき点がないかどうか議論したいと思います。



## 北山公園のカモ

北山公園のしょうちゃん池には、おなじみのカルガモ達が一年中暮らしています。東村山駅のロータリーでの子育ては有名で、可愛い子連れの姿を見た方も多いでしょ。

冬になるとしょうちゃん池では、時々変わった顔ぶれのカモを見ることがあります。北方から越冬にやって来たカモ達が気まぐれに立ち寄るので、まめに観察をしていると思いがけない出会いがあります。

それらの中でマガモはすっかり定着してしまいました。アヒルの原種で、オスの頭が鮮やかな緑なので「アオクビ」とも呼ばれます。メスはカルガモと似ていますが、口ばし全体がオレンジと黒の斑状になっているので見分けられます。空堀川には普通にやって来るコガモや、松ヶ丘の調整池では一番多いキンクロハジロもここでは珍客です。オナガガモのペアが来たこともありました。オスは名前の通り尾が長く、首から頭におしゃれな感じに白いラインが目立ちます。

私が驚いたのはミコアイサ(メス)です。元々数が少なく警戒心が強いので、こんな小さな池で会えるとは思ってもみなかったのですが、大雨直後に人影が少ないのを幸いにここでのんびりしていたようです。

みなさんもぜひ変わったカモが北山公園に来てないかのぞいてみてください。(ビー永島)

上:オナガガモ(オス)  
下:ミコアイサ(メス)



## 報告 外来魚情報交換会に参加しました



1月28日～29日に滋賀県草津市で開催された「第7回外来魚情報交換会(琵琶湖を戻す会主催)」に参加しました。当日は、日本全国から約100人が参加し、オオクチバスをはじめとする外来魚等の防除策などについて、熱心に情報交換を行いました。

今回参加して、感じたことがいくつかあります。1つ目は、外来生物の防除をもう少し総合的に進めていく必要があるのではないかと感じたことです。北川流域では、

これまで魚類調査を実施しつつ、一昨年、二つの池の掻い掘り(池干し)を実施してきました。狭山公園「たっちゃん池」のオオクチバスについては、狭山公園パークセンターのご協力により池の流出口にトラップを設置したり、吊り下げ式人工産卵床を設置するなどの対応を行ってきました。これらの効果により、北川に生息するオオクチバスは減少しています。しかし、他の外来生物、たとえばミシシippアカミミガメやウシガエル、アメリカザリガニなどについては正直、手付かずの状況です。情報交換会の生態工房さんの発表の中にもありましたが、張網、カニカゴなどのワナを使った捕獲についてもそろそろ取り組んだ方がいいのではないかと思います。

また、北山公園の環境整備については市役所と連携しながら取り組んできているところですが、昆虫類などの希少種の生息環境(水辺、流れなど)として、どのようにすればベターなのか、再度考えてみたいと思いました。

二つ目は、継続的な魚类等調査(モニタリング)を行っていくことの重要性です。データを経年的にとり、それを評価しながら具体的な対応策を考えていくことがとても重要であると再認識しました。近い将来、2つの池(北山公園しょうちゃん池、狭山公園たっちゃん池)の掻い掘りを実施していく可能性が高いと感じていますが、適切な対策と効果を検証していく上でも魚类等調査を怠りなく行っていく必要があります。

三つ目は、全国で外来生物に悩まされている仲間が挫折せずに、それぞれの団体の本来の活動を心おきなくできるようになることを夢見つつ、外来生物の防除活動に取り組んでいる姿にある種の感動を覚え、とても元気づけられたことです。

2月18日(土)午後には、井の頭自然文化園で「かいぼりシンポジウム(主催;井の頭恩賜公園100年実行委員会)」が開催されます。一緒に参加しませんか。(清水)

たっちゃん池の掻い掘りで捕獲したオオクチバス





## 報告 南台・富士見小土曜講座 水のふしぎ探検隊 野鳥観察会

1月7日、総勢20人近くで、空堀川・中央公園で野鳥観察を楽しみました。快晴には恵まれましたが、最高気温7℃、平均風速6m/s以上の寒さに、スタッフを始め大人たちは震え上がっていました。しかし、子どもたちはさすがです。寒さをもものともせず、休憩時間には水の中に入ってしまいう子どもたちまでいました。

鳥たちの観察は十分することができました。カワセミはみんなの目の前でハンティング。捕らえたザリガニを食べてる姿を、フィールドスコープでアップで堪能できました。セキレイ類もよく出てくれて、東村山の鳥、ハクセキレイの見分け方もわかったようです。

「タヒバリがいる」とちょっとマニアックな鳥を見つけてくれた子どももいて、23年度最後の土曜講座は楽しく終わりました。(ヒ-永島)

## 有害鳥獣って知っていますか？

人間生活に対して、生命的・経済的に害を及ぼす鳥獣類を言います。多くの場合、その食性によって、人、家畜、農作物、樹林、水産物等を食害することが問題になり、例としてシカ、イノシシ、サル、クマ、カラスなどが挙げられ、駆除対象にもなります。

特にシカは近年、全国的に個体数が急増しており、農作物や樹木の芽・樹皮の食害、交通事故の原因になるとともに、自然植生の破壊、さらには樹木を枯れさせてしまうことで、森林荒廃やそれに伴う山林斜面の土砂崩落（奥多摩町の例など）の原因とも考えられていることもあり、各地で積極的な駆除が行われています。シカの個体数の急増は、地球温暖化による冬期の自然死亡率の低下や、えさ場となる耕作地の増加などに加えて、天敵（特にオオカミ）がいないことが主な要因と考えられています。さて、ここで‘極端な個体数の増減が起らない程度までの駆除’は必要と考えるにしても、シカ以外の動物も含めて、その急増原因の多くの部分に大昔からの人間生活が関わっていることを分かっている必要があるでしょう。なお、シカ肉は直後の血抜き処理を上手くすることでとても美味しく食べられます。（チシマザクラ）



クイズ:シカの足跡はどちら? 答えはTページ

# —2012年 3月～4月 活動スケジュール—

## 春のうららかウォーキング

3/25 (日) 9:00～10:30

東村山駅西口受付

「春のうららかウォーキング」が西武・狭山丘陵パートナーズの主催で開催されます。

北山公園→八国山→雑木の森→多摩湖堤体→東大和公園→狭山公園を回る約10kmのウォークです。

北山公園では、北川かっぱの会が約30分の自然ガイドを協力します(善行橋入口;9:20、10:00～)。

現在、編集中の「八国山・北山公園・観察ガイド」もお披露目の予定です。

また、他のスポットでもミニガイドウォークがあります。この機会にぜひ、北山公園や八国山、狭山公園など当会のフィールドにお越し下さい。

## トウキョウダルマガエルが 絶滅の危機に

環境省準絶滅危惧、東京都絶滅危惧I種のトウキョウダルマガエルが、北山公園周辺でも絶滅の危機に瀕しています。

トウキョウダルマガエルは、春～初夏に水辺で産卵し、一生を水辺で過ごしますが(冬は泥の中などで冬眠)、八国山緑地を管理する西武・狭山丘陵パートナーズによると、八国山の二つ池付近では、その姿をほとんど見かけなくなったとのこと。昭和40年代には、日常的に見ることの出来たカエルですが、その生息環境を何としてでも守っていかねばならないと思います。とりあえずは、なんらかの継続的な調査が必要だと思われ。2月25日のかっぱの会総会の場で議論していきたいと考えています。

## かっぱ総会

2/25(土) 15:30～18:00

廻田公民館

## 定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

3/10、4/14(土) 集合：北山小正門前

## 北川のオオフサモ調査

3/24(土) 14-15時頃 集合；縄文宅部橋(雨天中止→ブログに掲載)

北川に繁殖しているオオフサモを観察し、今後の対応策について検討します。

## かっぱ定例会

3/24(土) 15:30～17:30(茫々亭)。

6月頃までの活動予定を中心に検討します。誰でも参加可能です。



写真: 永島



### 鬼が泣いている！

2010年12月頃から、北山小～北山公園内の北川に毎月30個以上の清酒の紙パックが捨てられています。小さな袋に3、4個。それが複数。11月は最多の58個。「鬼ごろし」好きの犯人さん、こどもの遊ぶ川です。ゴミは持ち帰ろうね。

### 北川かっぱの会 会議日程

定例会 3月24日(土) 15:30～17:30  
茫々亭

6月頃までの活動予定について検討します。誰でも参加可能です。

### 6ページの答え：A（Bはイノシシ）

#### ●編集後記

年末に奥秩父の金峰山を歩いてきた。大弛峠からの林道は雪の上を多数の足跡が通いおもしろい。人の足跡にしては??の15cm以上の足跡も、真新しいツメの跡がありクマと判断。クマは冬眠中ではないのでしょうか、…。雪が降ると違ったものが見えてきます。今度雪のとき八国山のタヌキに会いに行こう。  
(遊星歯車)

## かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 年間3000円

「かっぱ通信」(年5回)をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕  
〔りそな銀行東村山支店(普) 3605694〕



加入者名 北川かっぱの会

\*\*\*\*\*

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

### 『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

### 『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

●発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺